

平成26年度 地域・世代を超えた体験学習

ふにかえりの書

IN 片浦

実施日

① H26.8.1~8.3

② H26.8.7~8.9



あ れ こ れ 体 験



地域・世代を超えた体験学習実行委員会がおくる  
2泊3日の体験学習

## 地域・世代を超えた体験学習事業「あれこれ体験 in 片浦」 日程表

時間	1日目	2日目	3日目	時間
6:00				6:00
6:30		朝のつどい	朝のつどい	6:30
7:00				7:00
7:30		朝食	朝食	7:30
8:00	集合(小田原駅)			8:00
8:30	移動			8:30
9:00		オリエンテーション②	清掃	9:00
9:30	開会式(旧片浦中学校)			9:30
10:00			ふりかえり 新聞づくり・発表	10:00
10:30	アイスブレイキング		閉会式(旧片浦中学校)	10:30
11:00		体験型ウォークラリー  ①:シュノーケル体験ほか ②:乗馬体験ほか ③:マスのつかみ取り体験ほか ④:サービング体験ほか		11:00
11:30				11:30
12:00	昼食		移動	12:00
12:30				12:30
13:00	オリエンテーション①		解散(小田原駅)	13:00
13:30				13:30
14:00				14:00
14:30				14:30
15:00	グループビルディング			15:00
15:30				15:30
16:00				16:00
16:30				16:30
17:00				17:00
17:30	休憩・夕食			17:30
18:00				18:00
18:30		入浴		18:30
19:00		発表準備		19:00
19:30	夜のプログラム キャンプファイヤー	夕食		19:30
20:00				20:00
20:30	ふりかえり			20:30
21:00	水浴び、就寝準備			21:00
21:30				21:30
22:00	消灯	就寝準備 消灯		22:00

## 「あれこれ体験 in 片浦」【概要】

**趣 旨：**片浦地域の自然や資産、生業などを活用し、参加者（子ども）と指導者（大人）との世代を超えた交流を通し、子どもたちの創造力や自立心、豊かな人間性、生きる力を育むことを目的とする。

**実施日：**①平成26年8月1日（金）～3日（日）

**実施日：**②平成26年8月7日（木）～9日（土）

**場 所：**旧片浦中学校及び片浦地区

**宿 泊：**旧片浦中学校グラウンドにてテント泊

**参加人数：**①参加者（小学5・6年生）48名 指導者（おだわら自然楽校）24名

②参加者（小学5・6年生）48名 指導者（おだわら自然楽校）20名

**実施主体：**主催）小田原市 主管）地域・世代を超えた体験学習実行委員会

- 01 1日目
- 03 2日目
- 07 3日目
- 11 アンケート抜粋
- 12 おでかけ MAP

# CONTENTS

Vol.05 Summer '14

Happy Summer in Kataura Odawara

あれこれ体験 in 片浦

「あれこれ体験 in 片浦」にご参加くださった皆さん、お元気ですか？皆さんと過ごした三日間を「ふりかえりの書」としてまとめました。皆さんが体験したことがたくさん詰まったこの「ふりかえりの書」を見て皆さんはどんなことを思い出しますか？楽しかった事や嬉しかった事、辛かった事や悲しかった事など色々な思い出がよみがえってくると思います。一日目、小田原駅で初めて会う違う学校の子と顔を合わせ、不安そうな表情で「はじめまして」と声をかけ合った班の子たちとも、三日目の帰り、駅で別れるときには笑顔や名残惜しそうな表情で「またね」と声を交わしていましたね。今回のこの出会いは一期一会です。将来またどこかで友と再会した時にはこの「ふりかえりの書」を見ながら思い出話に花を咲かせてください。



平成27年 3月

地域・世代を超えた体験学習実行委員長 長谷川 英樹  
(ハセ)





2泊3日のあれこれ体験は「片浦」で行います。片浦地区では普段とは少し違った海や山、青い空など新しい小田原の景色を感じられると思います。照りつける夏の太陽の下、重たい大きな荷物を持つての長い階段と坂道を登って拠点となる旧片浦中学校へ向かいます。

開会式で指導者の自己紹介。その後は、お互いの持つ垣根を取り払うためにゲームでアイスブレイクを行います。



コンポスト



開会式



小田原駅

旧片浦中学校には生ごみを堆肥化するおおきなコンポストがあり、有機物の分解について学びます。3日間の食事で生じた生ごみは、コンポストへ。環境学習も体験です。

体育館に集合し、開会式を行います。実行委員長のあいさつの後、指導者の紹介。そして、4班に分かれた参加者と同じく4班に分かれた指導者の組み合わせを決める抽選を行います。自分の班の指導者が誰になるのか…みんなが注目です。

ドキドキ、ワクワク、不安、緊張、様々な思いを胸に小田原駅に集合です。東海道線の車窓から青い海を眺め根府川駅で下車、徒歩で会場となる旧片浦中学校まで歩いて移動します。これから待っている体験に、さらにドキドキ、ワクワクです。



みんなでアイデアを出し合って、一人の意見を尊重し、全員でまとまるこ  
とが出来たとき、課題は解決できます。  
みんなで協力することが大切です。  
夕食、キャンプ  
ファイヤー、静か  
な片浦の夜がにぎ  
やかに、仲間  
で過ごす楽しい時  
間が続きます。



夕食



グループ  
会議



アイスブレイク  
グループ  
ビルディング

夕食のメニューは、「ぶた丼」と「たっぷり野菜のポトフ」です。3日間の食事では、「炊き出しによる食」「自炊による食」「一流シェフによる食」と、様々な形態の「食」を体験します。

夕食までの空き時間、夜のキャンプファイヤーで行うスタンツ(出し物)をグループごとに考え練習する会議もあります。

参加者も指導者もみんな初対面。『足柄グリーンサービス』のスタッフや指導者のリードで緊張した状態(アイス)を解消(ブレイク)し、3日間過ごすグループ内の団結力を高めていきます。

# 2日目



慣れないテントのせいもあるけれど、いろんな事が楽しくて、なかなか眠れなかった夜。また一日がはじまるのが嬉しくて、夜明け前から目が覚めて、グラウンドをウロウロ。  
今日はどんな素敵な体験が待っているのだろうか？

3日間の食事も「お弁当」「炊き出し」「自炊」「おもてなし」など様々なコンセプトがあります。今朝のメニューは「わかめうどん」。キャンプ用品のバーナーとコップフェルを使って、自分の食事は自分で作ります。指導者に道具の使い方を教わりながら、朝食作りの体験です。  
自分で食事を作り、食べる。食の楽しさを知ること、このことも、「あれこれ体験」です。



コース①  
**【シュノーケリング体験】**  
 初めて身につけたウエットスーツ。いろんな魚をみつけられたシュノーケリング。みんなで楽しみながら食べるバーベキュー。台風の影響で中止となり恨めしそうに海を眺めた班。はしゃぎまわって泳いだヒルトン小田原のプール。どれもこれもステキな「あれこれ体験」です。

コース②  
**【マスのつかみ取り体験】**  
 最初は、一人一人が個々にマスを追いかけて回し、なかなか捕まえることができません。でも、仲間と声をかけあって、協力し合ってからは次々と捕まえることができました。捕まえたマスは、その場で焼いて美味しくいただきます。命あるものを食すありがたみを知る体験でもあります。

コース③  
**【ジャム作り体験】**

収穫したブルーベリーでジャム作り。お砂糖とレモン汁を加え味見をしながら味を整えていきます。完成したジャムは瓶に詰めて、自分で作ったラベルを貼りお土産に持ち帰りました。

コース④  
**【ブルーベリーの摘み取り体験】**

太陽の恵みを受けた片浦のブルーベリー。次のジャム作りのために3種類のブルーベリーを摘み取ります。





【乗馬体験】  
 コース③  
 馬小屋の清掃に馬のブラッシング、餌やりや馬引き、慣れない  
 手つきでおっかなびっくり。ツライ暑さのなか、キツイ作業。そ  
 んな状況に初めは心が折れそうになりますが、馬と関わる時間が  
 たつにつれて、まるで馬と会話をしているかのように馬と仲良く  
 なっていきます。  
 最後は裸馬に乗ります。鞍を付けない裸馬に乗る体験なんて、  
 そう簡単にはできるものではありません。お昼に食べた「流しラー  
 メン」も、みなでお腹いっぱい食べました。  
 馬以外にも様々な動物とふれあうことができました。



コース④ 【こんにゃく作り体験】  
 青い海と青い空、片浦の山の緑を見ながら、登  
 った坂道。こんにゃくが何からできているかも知  
 りました。自分で作ったこんにゃくはお家へのお  
 土産です。



コース④ 【サービング体験（就業体験）】  
 ヒルトン小田原での研修は“サービング”。お客様を迎える心構えから始まっ  
 て、テーブルクロスを敷き方、フォークやナイフ、グラスの並べ方、そして配膳  
 の仕方からお水の注ぎ方まで、ホールスタッフからプロの技術を学び、本番に望  
 みます。本番では研修の成果をいかし、精一杯仲間をもてなしました。  
 ディナーコースの終了後に運営統括支配人から授与された『研修修了証』は貴  
 重な体験とともに大切な思い出の品となりました。







特別な一日を体験してきた仲間が集まります。とても素敵なヒルトン小田原のホールで特製のカレーインナーコースが本日の夕食です。ホールに立つのは、なんと、ヒルトンサービングコースの仲間たち。仲間が仲間のためにおもてなし。スタッフの一員として仲間のために研修で教わった通り頑張りました。そんな仲間を最後にみんな拍手で称えました。



お腹がいっぱいに満たされて、旧片浦中学校へ戻ります。楽しかった一日のふりかえり。グループがさらに仲良くなるように感想や意見を出し合います。片浦での最後の夜を思い思いに過ごします。



# 3日目



3日目は昨日の疲れもあり、起床時間までグッスリ。眠い目を擦りながら、「朝のつどい」で今日もスタートします。

続いて朝食。牛乳パックは、この日の朝食作りに使いました。ゆっくり燃える牛乳パックを眺めながら、アツアツのカートンドッグができるまでおしゃべりしながら待ちました。

朝食が終わったら清掃の時間です。テントの中で使った寝袋やインナーマットをたたんで、3日間過ごした旧片浦中学校の体育館やトイレの清掃をしました。次に使う人が自分だったらと考えながら仲間と一緒にキレイに清掃しました。

3日間のまとめの「ふりかえり」。3日間を共に過ごした仲間との最後の共同作業です。体験したこと、思い出に残ったことなど、班ごとに新聞を作り、発表に備えます。



清掃



カートンドッグ



朝のつどい

3日間利用した施設やテントを清掃します。テントの中と使用した寝袋、トイレや体育館を磨き上げます。初めて使用した寝袋がなかなか小さくため悪戦苦闘の参加者もいましたが、指導者と一緒に一生懸命片づけました。これもまた体験。

カートンドッグとは、牛乳パックで焼き上げるホットドッグ。パンにフランクフルトをはさんで、トッピングにキャベツとチーズ、アルミホイルに包んだら牛乳パックに詰めて火を点けます。牛乳パックが燃えきるとアツアツの朝食が完成です。

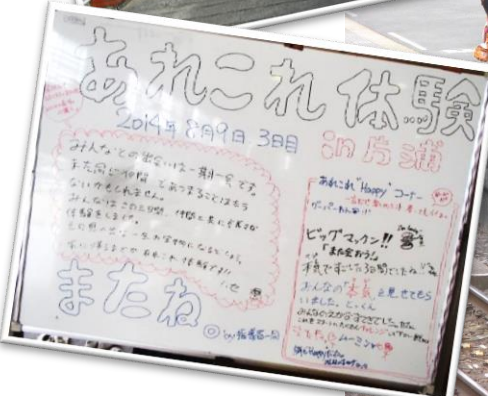
毎朝6時30分から「朝のつどい」をします。各班から選ばれた代表がつどい係として全員をリードしていきます。内容はつどい係会議で自分たちが決めます。アイスブレイクやラジオ体操で、頭も体も眠たい目もすっきりさせます。



それぞれのグループがみんな協力して作成した新聞を発表する時間です。そこでは、楽しかったことや印象に残ったことなどほかのグループに伝えたいことを写真とともに報告しました。

発表が終わると、片浦で過ごす時間もあと少し・・・。

今度街で会ったら、キヤンペンームで呼び合おうね。連絡先教えて。手紙書くな。



この夏の体験がみんなの心の栄養になりま  
すように、指導者一同  
心から願っています。  
またどこかで会いま  
しょう。



解散



帰りの駅



ふりかえり  
新聞作り  
発表

楽しかった3日間もあっという間に終わりの時間。夏の青い海を眺めながら根府川駅から小田原駅へと電車で帰ります。友達との再会を誓い合って、解散です。

荷物をまとめて帰ります。汗で汚れた着替えとたくさんの思い出をかばんに詰めて…。実行委員長のことばで3日間の幕が下ります。この後、集合写真を撮って、根府川駅へと向かいます。

3日間をふりかえって、各班オリジナルの新聞作り。みんなで過ごした時間を模造紙1枚に書き上げます。完成したら各班のオリジナル新聞を発表し、楽しかった思い出をシェアします。





## 参加者の声・楽しかったこと（参加者アンケートより抜粋）

- ◆アイスプレイングでみんなとの壁がなくなった
- ◆来たとき、荷物がすごく重かったこと
- ◆キャンプファイヤーで前に出て踊ったこと
- ◆テントで寝たこと◆星がたくさん見えた
- ◆お風呂に1時間入ったこと◆友達とお風呂のサウナ
- ◆ヒルトンで友達とお風呂に入ったこと
- ◆ヒルトンの温泉やサウナに入ったこと

- ◆自分で作った(作ってもらった)朝、昼、夜のご飯が美味しかった
- ◆朝ごはんのホットドッグが美味しかったこと
- ◆朝食を自分で作ること
- ◆うどんの汁に塩コショウを入れすぎた

- ◆同じ班の人たちといっぱい話できた
- ◆いっぱい友達できた
- ◆積極的にいろいろやれておもしろかった
- ◆違う学校の子と仲良くなれたこと
- ◆昨年、体験の時に一緒にいた子と再会でき、しかも同じ班だったこと
- ◆なぜか朝4時半に目が覚めた
- ◆みんな疲れながらも声をかけあって歩いたこと
- ◆班の子と違う班の子と集まって話し合い
- ◆日にちが過ぎるごとに団結力が高まったこと

- ◆ヒルトンで働いて賞状をもらったこと
- ◆サービングを初めてやったこと
- ◆マスコット、最初はつかめなかったけど協力しあって捕まえられたこと
- ◆こんにやく作りがとでも楽しかったです
- ◆シュノーケリングだったが、台風の接近でヒルトンのプールに入れたこと
- ◆プールの遊びがとにかく楽しかった
- ◆シュノーケルで、海がすごく深くてびっくりした
- ◆馬の世話をした乗ったこと◆豚に餌をあげたこと
- ◆お腹に赤ちゃんがいる馬の世話をしたこと
- ◆ブルーベリージャムを作ったこと
- ◆仔馬が無事に産まれたか気になります



## 指導者との思い出

（参加者アンケートより抜粋）



- ◆帰る時に色々な人のサインをもらえていい思い出になったし色々できた。
- ◆はせがたくさん写真をとってくれました。べていとはたくさん話をして楽しかった。
- ◆マクンとお風呂やご飯を一緒に食べたことが楽しかった。
- ◆ムーミンが名札をくれた。みんなで鬼ごっこをした。みんなでスタンプをした。
- ◆さっさんが植物や生活の事を教えてくれてよかった。
- ◆キャンプファイヤーで一緒に踊った事いっぱい話した事
- ◆色々な事を教えてくれた。水遊びの時ハセガツパがいた。
- ◆写真をたくさん取れたし乗馬でもたくさん協力できたことが一番楽しかった。
- ◆アイスブレイクで後ろのほうですごく声を出してくれて心に残った。3日間ありがとうございます。
- ◆朝食や、昼食、夕食を食べている時。ヒルトンや、ウォークラリーで歩いた時。
- ◆1つ1つのやる事の間に話している時が楽しかった。グループビルディングの時にたくさん話した。移動の時やバーベキューに仲良くなれた。
- ◆一緒に遊んでくれた。アイスブレイクが楽しかった。魚の名前とか知らないことをたくさん教えてもらったこと。
- ◆何事も自分たちでやってごらんといつも優しく見守ってくれてうれしかったです。鬼ごっこなどたくさん一緒に遊んでもらって楽しかったです。

- ◆色々な楽しい話をして楽しかった。
- ◆体育館で思い出話をした。
- ◆指相撲、料理作り、星を見たこと、山登り
- ◆楽しく話した事一緒に踊ったりしたこと。
- ◆プールが楽しかった。
- ◆すもうかした。楽しかった。話をした。
- ◆片浦に行くまで皆と遊んだり話したりした事。
- ◆一緒に夜の星を見た。

## 保護者の声（保護者アンケートより抜粋）

- ◆荷物の準備は必ず自分でやりましょう。この注意事項とその理由が息子にはドンピシャでした。現地には普段頼っている親も先生もお友達もいません。忘れ物をして困るのは自分です。5年生にもなって恥ずかしいですが、こんなにしっかりと持ち物の支度に責任が持てるようになったような気がします。
- ◆本人も行きたいというので申し込んだのですが、一人での申し込み参加でしたが、さすがに直前は緊張していました。特に集合場所での様子が気になり心配していました。帰って来ると表情が輝いており「ものすごく楽しかった来年も行きたい」と申しましたので、参加させて良かったです。
- ◆あれこれの用意をしようと自分からリュックを出してきて用意をはじめました。あれこれに行くぞという意欲にびっくりしました。あれこれに行ってきた後は体験出来たことを詳しく話してくれました。以前とくらべて物事をより明確に話せるようになったと思います。
- ◆送って行ったときは小さな声で「行ってきます」だったのが迎えに行った時の「ただいま」の大きな声にどれほど楽しかったのかが伝わってきました。帰って来た時の笑顔は今でも見た事がない位はつらつとしていました。
- ◆もともとアウトドアや友人をつくるのが大好きな子どもなので、いい機会をつくっていただき親子ともども喜んでます。色々な遊びを覚えてきて家族遊びをする機会が増えました。
- ◆自分ばかりでなくみんなという考え方が少しできるようになったみたいです。
- ◆片浦中の風土を活かしたとても素晴らしい事業ですね。協力いただいている地域の方々、事業に関わる皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。主人も私もそれぞれ学生時代にリーダーの立場で子ども達と自然体験活動をしていたので生まれ育った小田原のこの地域で自分達の子どものがこういう事業に参加できているということとてもうれしく思います。本人の育ちとまわりの方々「ありがとうございます」です。
- ◆あえてお友達を誘わず1人で参加させました来年も絶対に参加したいと話しています。初めて会った子どもと友達になれるし、協力して3日間やり遂げる事が出来たという事が本人の中で大きな自信になったことが感じとれました。貴重な体験をさせていただきありがとうございます。
- ◆楽しい事ばかりではない沢山の経験をさせていただき自分に自信を持てるようになりました。出発前は不安そうにしていたのですが帰ってきた時は「楽しかった」と笑顔だったので小学校最後の夏休みに良い経験そして良い思い出が出来ました。
- ◆ヒルトンでの体験での話の中で「仕事って大変なんだよ。いっぱい覚える事がたくさんあってちゃんと仕事出来るようになるまで何年も掛かるんだって」と話した言葉は印象的でした。
- ◆3日間暑い中大変お世話になりました。不安の中出発した娘でしたが、とても楽しかったと帰宅して本当に良かったです。どうもありがとうございました。
- ◆プログラムの内容が事前に決まっていると持ち物も少し減らせたりするのでありがたいです。プログラムの内容を第1～第3など希望をとってもらえると嬉しいです。
- ◆中学～高校と成長していく過程で更にこれにつながる物があるといい
- ◆参加費が安いのにこれだけ色々させていただいてとても嬉しく思っています。出来ればもっと参加人数を増やして冬休み、春休みにもして欲しいです。

ヒルトン小田原リゾート&スパ  
 電話:0465-29-1000  
 住所:根府川583-1  
 <サービング体験>  
 <シュノーケリング代替プログラム>  
 <入浴>  
 <夕食:ヒルトンディナー>



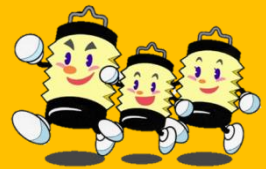
旧片浦中学校  
 電話:0465-29-0134  
 住所:根府川41  
 <活動拠点>  
 <宿泊:テント泊>



なみのこ村  
 電話:0465-29-0841  
 住所:根府川161  
 <昼食:バーベキュー>



根府川ダイビングセンター  
 電話:0465-29-0929  
 住所:根府川161  
 <シュノーケリング体験>



## おでかけMAP 片浦・小田原

“Odekake”MAP→Kataura, Odawara

きのこ苑お山のたいしょう  
 電話:0465-29-1393  
 住所:根府川657  
 <こんにゃく作り体験>  
 <ブルーベリージャム作り体験>  
 <昼食:バーベキュー>



広石農園  
 電話:0465-22-8606  
 住所:根府川389  
 <ブルーベリー摘み取り体験>



白糸マス釣りセンター  
 電話:0465-29-0769  
 住所:根府川483  
 <マスのつかみ取り体験>  
 <昼食:バーベキュー>



サドルバック  
 電話:0465-29-0830  
 住所:江之浦415  
 <乗馬体験一式>  
 <昼食:流しラーメン>



「あれこれ体験 in 片浦」にご協  
 力いただいた施設です。片浦の地を  
 歩いてみませんか?ご家族でも楽し  
 めるプログラムもありますので、せ  
 ひ、おでかけください。

※<>内記載は、『あれこれ体験 in 片浦』で実施したプログラムです。



## 指導者養成研修事業「おだわら自然楽校」

～Odawara Outfitters Training School (OOT'S)～

小田原市では、地域や学校における体験学習、或いは子どもたちの居場所づくりなどといった青少年育成事業に積極的に参画できる指導者を養成するための研修事業「おだわら自然楽校 (OOT'S)」を平成22年度にスタートしました。

研修では、コミュニケーション能力やチームワークの活性化スキル、野外炊事やキャンプファイヤー等のアウトドアスキル、子どもたちの安全管理（リスクマネジメント）、様々な体験学習プログラムなど、幅広い年代の方々がたくさんの知識や技術の習得を図っています。

「あれこれ体験 in 片浦」では「おだわら自然楽校 (OOT'S)」で学んだ指導者の協力をいただき、実行委員会を立ち上げ、プログラムの企画から進行までを担っていただいています。参加した子どもたちは、指導者との世代を超えた触れ合いの中で、多くのことを学び、たくさんの思い出を作り、生きる力を育んでいます。

子どもたちが健やかに、そして力強く成長していくことを願い、学校や地域などが行う体験学習へのサポートをこれからも続けていきます。青少年育成や体験学習活動に興味のある方は、「おだわら自然楽校 (OOT'S)」にご参加ください。指導者として一緒に活動していきましょう。

おだわら自然楽校

ウェブ検索

地域・世代を超えた体験学習実行委員会

@小田原市子ども青少年部青少年課

